

第 13 回「こども租税教室」を開催しました

令和 7 年 9 月 29 日(月)、女性部会主催による「第 13 回こども租税教室」を松島町児童館に於いて開催しました。

今回は、放課後児童クラブに通う松島町内 3 つの小学校の小学 1～2 年生、総勢 74 名の児童を対象に実施しました。

教室の冒頭では、税について楽しく学べる紙芝居「ドンタくん」を上演。

迫力ある語り口に子どもたちは引き込まれ、真剣な表情で鑑賞していました。



QUIZ!



続いて行われた税金クイズでは、問題が出されるたびに歓声が上がり、最後には白熱した展開に。

楽しみながら税の仕組みを学ぶ貴重な時間となりました。



実際の紙幣を模した 1 億円のレプリカを持ち上げる体験では、子どもたちから驚きの声。
税金のスケール感を肌で感じてもらうことができました。



最後に記念品を贈呈し、教室は終了。こどもたちの「ありがとうございました！」という純真で元気な声に、スタッフ一同 心が洗われる思いでした。このような取り組みを通じて、子どもたちが税の大切さを楽しく学ぶ機会を今後も提供してまいります。

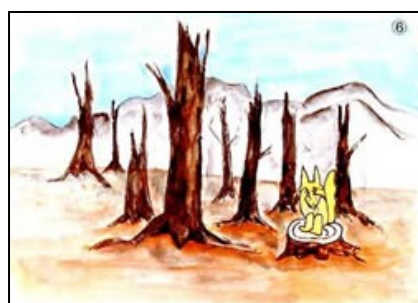
紙芝居ドンタくん概要



森の仲間とドンタくん



大変！森が火事だ！



森は焼け野原です



森を元に戻すために会議をしました



そうだ！みんなで働いたお金を出し合って森に必要なものを買おう



消防自動車を買えたよ



学校が出来たよ。バスや信号、お店屋さんもあるよ。みんなでお金を出し合ってこんなに楽しい森ができました。



この みんなが働いて出し合うお金を税金って言うんだよ。私たちは税金で助け合っているんだね